

令和6年度 第6回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和6年8月20日(火) 19:00開始

2. 場 所 ZoomによるWeb会議

3. 出席者 理事18名中18名、監事2名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、
安西 浩哉、近藤 聡史、箸本 明雄、柿田 亜矢子、
高瀬 美保、久保 克敏、桜木 由美子、小野 真由美、小林 和典、
福島 雄裕、西田 美和子、埴岡 隆(途中参加)、
奥田 竜子(途中参加)、安枝 和子(途中参加)、
(監事) 花野 信子、清水 美音子

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名中15名が出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、中村 真理 SOMPO JAPAN CUP 実行委員長、坂本事務局長、鈴木事務局長次長、内山事務局長の出席の案内があった。

(2) Zoomでの出席者の音声は即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

6. 審議事項

① 第一号議案 利益相反取引について

坂本事務局長から配付されている資料に基づき4件の利益相反取引について

て説明があった。箸本理事から、「今後も金額、形態に関わらず全ての利益相反取引について承認を得るようお願いしたい。」との呼びかけがあった。審議後、当事者（多氣専務理事、福島理事、小野理事）は議決に参加しない形で決を取り、12名の賛同により承認された。

7. 報告事項

① SOMPO JAPAN CUP (SJC) 実施報告について

中村真理 SJC 実行委員長から SJC の実施結果について、内山事務局員から会計報告について、配付された資料に基づき説明が行われた。

また、SJC 当日の募金と協会予算を合わせて、被災地支援寄付金額を30万円とすること、寄付先については石川県ホッケー協会に相談することが確認された。

② 強化育成本部より

永井強化育成本部長から、配付された資料に基づき以下の事項について説明が行われた。

- (ア) パリ五輪結果報告
- (イ) さくらジャパン・ヘッドコーチについて
- (ウ) 強化育成本部組織
- (エ) 脳震盪ガイドラインについて
- (オ) 男子アジアチャンピオンズトロフィーへの参加
(事前合宿・米原市／本大会・中国)
- (カ) GKクリニックの実施（米原市） *口頭報告
- (キ) 男女ジュニア・アジアカップの日程（オマーン・マスカット）

② 第98回全日本男子ホッケー選手権大会の日程変更

近藤事業本部長から、オマーンで開催される男子ジュニア・アジアカップの日程が11/26～12/4で決定されたことから、当初12/6～12/8で予定されていた全日本男子大会の日程の再調整が開始された旨が報告された。各関係者との調整後、最終的な日程は別途報告されることとなった。

③ 全日本女子ホッケー選手権大会 出場プレーオフについて

埴岡理事および永井常務理事から、令和5年度のプレーオフ実施の経緯と本年度のプレーオフの開催について説明があった。多氣専務理事から、その位置づけや担当役員等について確認が求められ、様々な意見が出たため、改めて事業本部・社会人連盟などの関係者と明確化の協議をしていくことが確認された。

⑤ R6 年度予算進捗状況

福島財務総括部長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

⑥ ATO ホテルの件

多氣専務理事から口頭により説明が行われた。JOC との間でコミュニケーションの行き違いによりパリ五輪の村外ホテルの予約にミスが生じ、想定外の費用が出たというものであった。本件については、箸本理事を中心に法務・コンプライアンス推進部にて、事実関係の確認と再発防止策を講じることとなった。

⑦ インターハイ・全中大会実施報告

久保事業本部副本部長から、口頭により説明が行われた。

⑧ R6 年度ホッケータウン・パーソン認定

柿田ホッケータウン推進部長から、配付された資料に基づき説明が行われた。本年度はホッケータウンの募集のみを行うこととし、功労者表彰等については、定款施行細則に基づき別途検討を行うことが確認された。

⑨ R6 年度会議日程

坂本事務局長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は 20 時 18 分、閉会を宣言した。